

ワークショップ 「現場型ウナギ種判別キットの解説と実演」

近年、ウナギ属魚類の持続的利用と国際的な資源管理において、正確かつ迅速な種判別技術の開発が急務となっています。本ワークショップでは、カナダのバイオテクノロジー企業 WildtechDNA 社が開発中の「現場で迅速にウナギの種を判別できるキット」について、開発者の Rahul Chaudhari 博士を招き、研究者向けにその原理と応用可能性をご紹介します。本キットはラテラルフローを用いることにより、PCR を行わずにオンサイトで迅速な種判別を可能にしています。現在のところニホンウナギ、ヨーロッパウナギ、アメリカウナギの同定が可能で、今後 16 種を同定できるキットを開発予定とのことです。ワークショップではキットを使用した種判別の実演を実施するほか、研究協力の可能性に関する意見交換も行います。

講師：Rahul Chaudhari 博士（WildtechDNA 社・カナダ）

分子生物学者として、野外での迅速な DNA 判別技術の開発に従事。ウナギ属魚類の種判別を可能にするプロトタイプキットの開発を主導。WildtechDNA 社（<https://wildtechdna.com>）は、分子生物学を社会課題の解決に応用するスタートアップ企業です。

参加対象：研究者・学生

日時：2025 年 7 月 23 日（水） 14:00-16:30

場所：中央大学 茗荷谷キャンパス 3 階 3N04 号室
〒112-8631 東京都文京区大塚 1-4-1

使用言語：英語（通訳なし）

参加：事前申込制

参加費は無料、申込期限は 7 月 18 日（必着）です。

[申し込みはこちらから](#)

問い合わせ先

中央大学法学部 海部健三

E-mail：kkaifu001t@g.chuo-u.ac.jp